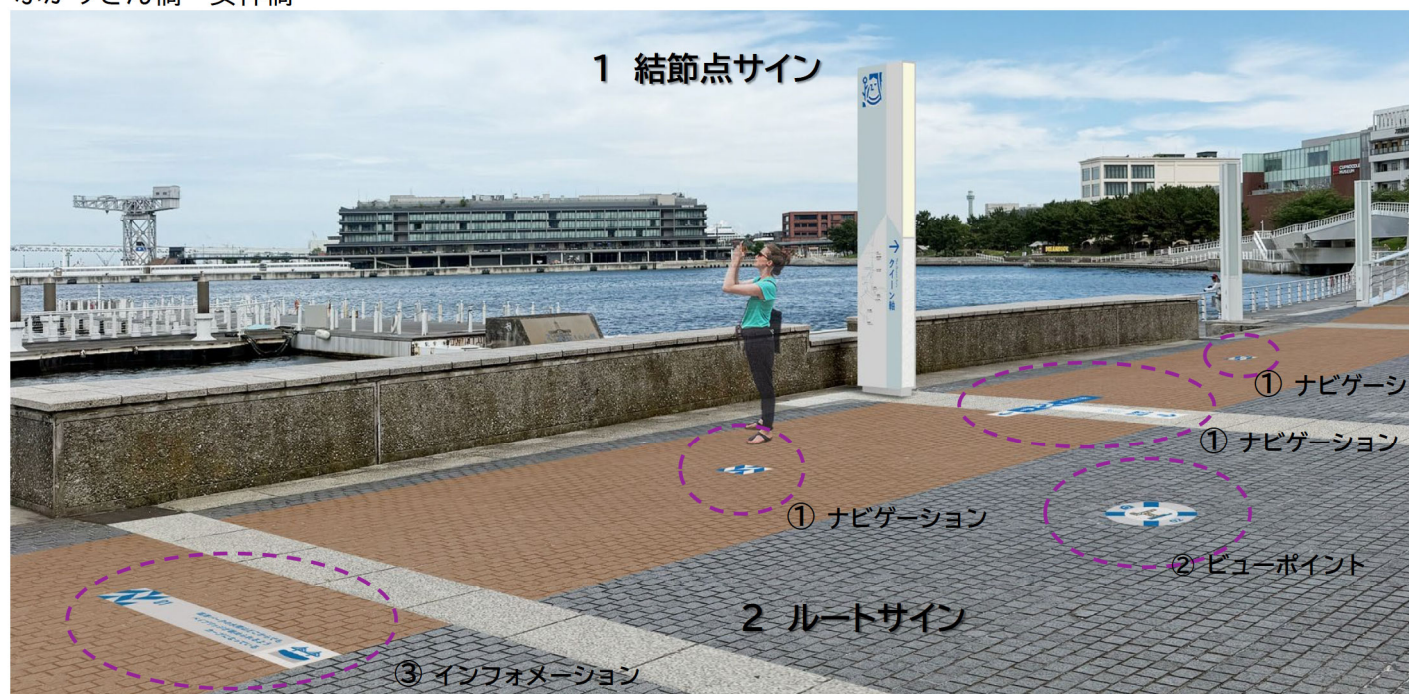


0 水際線のサインの役割と種類 ～水際線上の各エリアをつなぎ、楽しみながら移動できるしかけ～

1 結節点サイン 水際線とまちをつなぐ

水際線から「まちへも行きたくなる」

ばかりさん橋～女神橋



② ビューポイント

「絶景ポイント」を見逃さない



横浜港駅



新港地区から大さん橋

③ インフォメーション

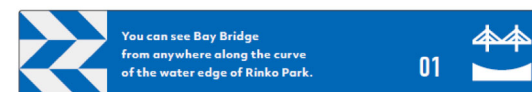
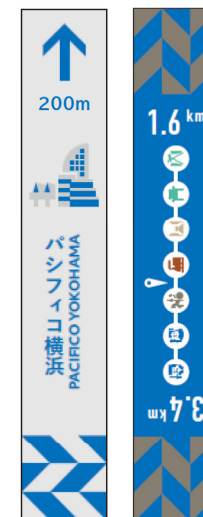
まちの「おもしろい」が見つかる

2 ルートサイン 水際線を際立たせる

水際線を「歩きたくなる」

① ナビゲーション

近くの「行きたい」がすぐわかる



1 結節点サイン

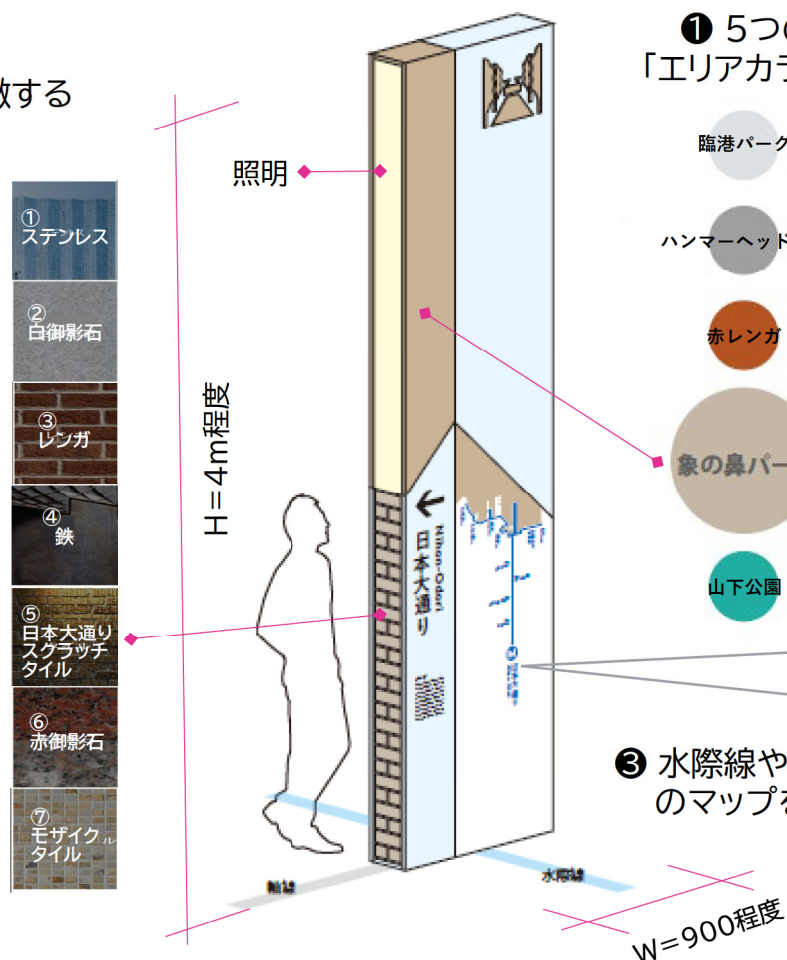
明日をひらく都市

OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

「水際線からまち」へ、「まちから水際線」へと人の流れを生み出していくために、
「主要な鉄道駅」と「水際線」を結ぶしかけの一つとして、結節点サインの設置を行います。

② まちなかの軸線を象徴する 7つの「素材」

- ① 横浜駅～臨港パーク(キング軸)
- ② 桜木町駅～臨港パーク(クイーン軸)
- ③ 桜木町駅～ハンマーヘッド(馬車道)
- ④ 桜木町駅～赤レンガ(汽車道)
- ⑤ 関内駅～象の鼻(日本大通り)
- ⑥ 石川町駅～中華街～山下公園
- ⑦ 石川町駅～山下公園



① 5つの 「エリアカラー」

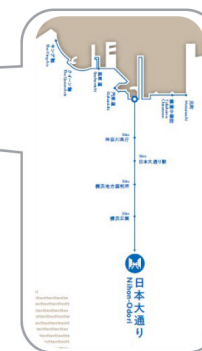
- 臨港パーク
- ハンマーヘッド周辺
- 赤レンガ
- 象の鼻パーク
- 山下公園

① その場所の個性を表す「エリアカラー」 を基調とした広い盤面

② まちなかの軸線を象徴する「素材」を 間に挟み込むことで地域性を持たせる

③ 広い盤面を使ってマップを掲載 ・水際線上の現在地を示す地図や番号 ・まちなかの情報

③ 水際線やまちなかの マップを掲載



1 結節点サイン

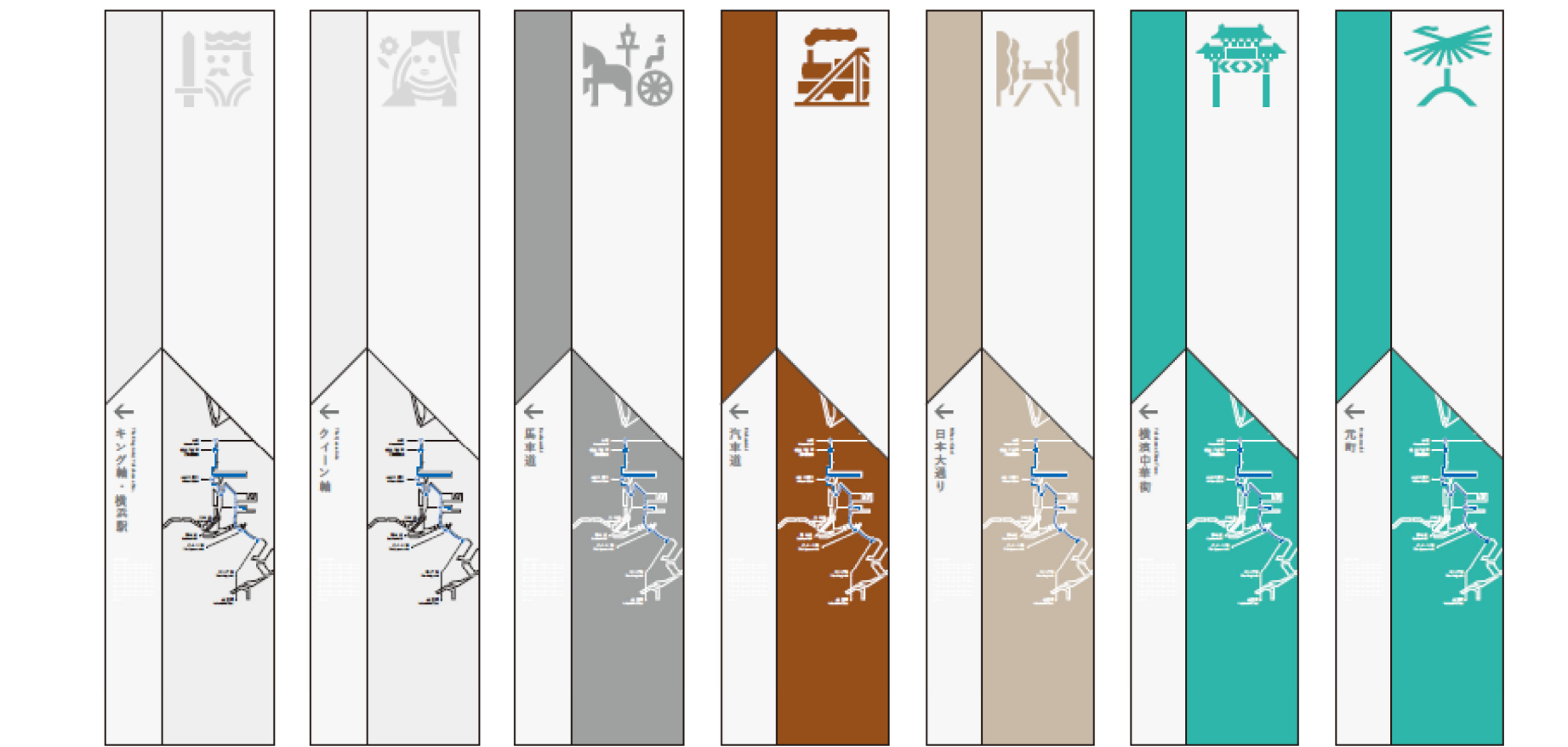


エリアカラー展開イメージ

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA



5

詳細については今後、景観アドバイザーにもアドバイスをもらいながら決定していきます

2 ルートサイン

水際線上の5つのエリアをつなぎ、水際線そのものを顕在化させ楽しみながら移動できるサイン

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

①ナビゲーション

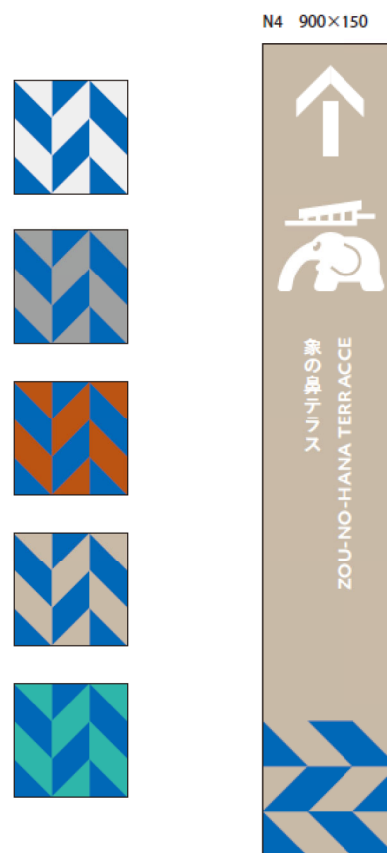
- ・現在地や近隣施設への方向や距離等を伝えるサイン
- ・水際線を可視化する「モチーフ」を連続的に配置
(□150mm、@10～15m程度)
- ・ベースにエリアカラーを用い、施設を示すピクトを掲載
- ・モチーフが一直線上に揃うように配置
- ・サイズは900mm×150mm程度

《モチーフの考え方》

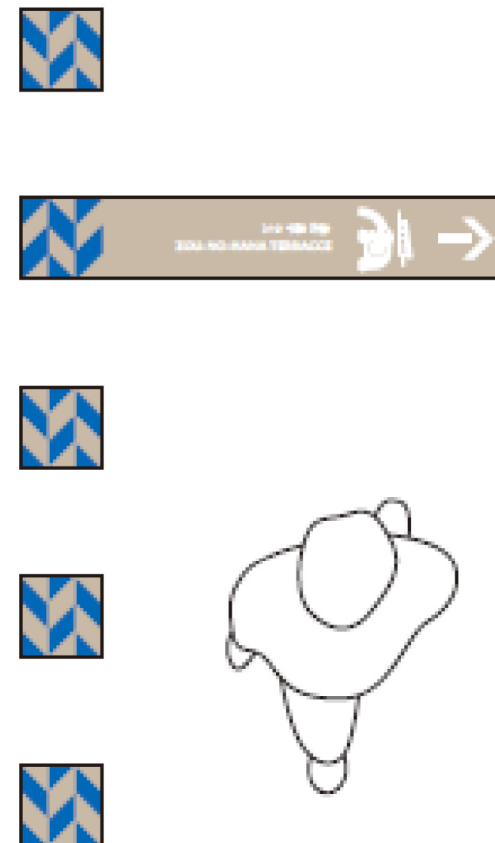


- ・「海の青」と「水際線を構成する5つのエリアを示すカラー」で水際線を可視化
- ・平行四辺形をモチーフにして「水際線を人が行き交う様子」を表現

《デザインとカラー展開イメージ》



《設置イメージ》



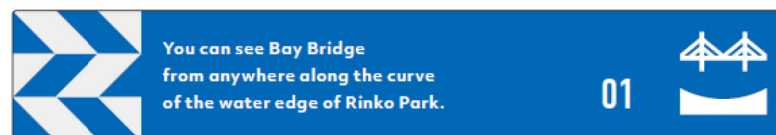
2 ルートサイン

②インフォメーション

- ・エリアの魅力(トリビアなど)を伝えるサイン
- ・ベースはエリアカラーを使い、トリビアに対応したピクトを掲載
- ・日本語／英語 それぞれを表示します
- ・モチーフが一直線に揃うように配置します
- ・サイズは900mm×150mm程度

《デザインイメージ》

T1：臨港パーク内

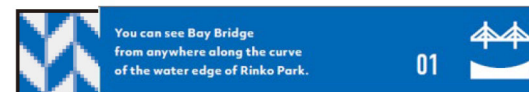


明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

《設置イメージ》



2 ルートサイン

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

③ビューポイント

- ・ 写真スポットとなる視点場や、歴史的建造物などを伝えるサイン
- ・ 歴史的建造物や特徴的な風景を表すピクトを載せます
- ・ 大きさはφ300mm程度

《設置イメージ》

インド水塔



《デザイン及びカラー展開イメージ》

